

御嵩町児童・園児たちが「どんぐり拾い」に来ました！

【令和7年 10 月 17 日】

10 月 17 日(金)の午前中、秋の気配が感じられる穏やかな天候の中、御嵩小学校・御嵩保育園・中保育園の児童・園児約 120 名が本校を訪れ、高校生 2 年次生 27 名(地域探究類型または「生物基礎」科目選択者)とともに校内を散策しました。この活動は、御嵩小学校 1 年生の生活科学習の一環として、「秋の自然の変化に気付き、夏との違いを探ること」と「異なる学校種の人々との交流を楽しむこと」を目的に企画されたもので



す。児童・園児たちは高校生とグループを組み、「赤陵の森」内の池周辺、グラウンド付近、正面玄関前庭の 3 箇所を各 15 分ずつ散策。どんぐりや松ぼっくりを拾ったり、バッタやカマキリ

を捕まえたりして、秋の自然を満喫しました。ざくろや花梨などの果実にも触れ、季節の移ろいを感じることができました。子どもたちは、生徒と手をつなぎ、笑顔で会話を交わし、世代を超えた温かな交流となりました。生徒からは「楽しい時間を過ごせて幸せだった。」「自分にもこんな時期があったのかも。」「といった声が聞かれ、「このような交流をもっと広げたい。」との感想も寄せられました。今回の活動を通じて、御嵩町に新たな交流イベントが誕生しました。



児童たちは拾った木の実を持ち帰り、コマやヤジロベイ、ゲーム盤などの作品づくりに取り組む予定です。